

模試・検定・実力考査 ～夏休み前に自分の立ち位置を確認しておこう～**① 復習は大切！自分の得意・苦手を知る**

いよいよ7月に入り、1学期も残り少なくなってきました。1年生と2・3年生文理コースの生徒は、先週末に今年度最初の模試がありましたね。授業などで、早速解き直しをしている教科もあるようです。模試の復習はとても大切です。右下枠には、**復習することで分野・単元の自分の苦手部分を把握し、対策をとりやすくなる**との先輩体験談が記されています。この記事は、数学が苦手な人向けのものですが、他の教科も同様に、**まずは問題を解いて間もない今だからこそ、模試の復習をして自分の苦手分野や分からない部分を確認しましょう**。また、ハイスクールオンラインでもweb解説が載っているので、興味がある人は是非見てみましょう。

② 検定取得は進路決定につながる

総合コースの生徒は、検定が終わりました。検定は、**自分の実力を反映する一つの指標として進学に利用することが可能です**。また、**検定の取得状況によって入学金や学費の減免など、多くの特典を設けている上級学校もあります**。2年生の皆さん！！1級取得のためには多くの努力が必要です。9月以降の検定に向けて、夏休みにしっかり対策をしておきましょう。

③ 校内実力考査で今の自分の実力を知る

来週は、実力考査があります。実力考査は、単元テストだけでは把握できない、単元を超えた学力を把握するために、今年度から導入されました。出題範囲は、教科ごとに指定され、**多くは入試レベルの少し難しめの問題となっています**。実力考査の結果は、先生方が学習指導の在り方を考える重要な参考資料となります。**粘り強く最後まで取り組むことによって、今の自分の実力を知り、夏休みの学習につなげられるようにしてください**。

◆先輩体験談◆

数学が苦手、といっても度合いがあります。そこで、模試の復習を通じて「どんな分野が苦手なのか」「どうして苦手としているのか」また、「公式がおぼえられていないだけか、公式が使えないのか」など、自分の《ニガテ》に対して分析をしてみましょう。

やみくもに例題をひと通り解き直したとしても、解けない理由が問題へのアタック方法、視点がわからない苦手の場合だと、例題をしっかりと解くよりも問題集で問題を解く方が効果的な場合もあります。

苦手の原因に応じて、どのように苦手に対応すればよいかが変わります。ですから、分野、単元ごとにしっかりと「原因」を把握し、その「原因」に対してどのように対策をすればいいのか考えることが一番“自分にとってベスト”な苦手対策になると思います（神戸大 A先輩）

「苦手克服＝教科書の最初の単元から勉強し直す」というイメージがあるかもしれないけれど、それだと自分が得意な単元も勉強し直すことになるので「効率の悪い勉強」になってしまいます。

そこで、各単元の基礎力がきちんと身についているかを確認する際に活用してもらいたいのが、「模試の結果（一番最近受験したもの!）」と「数学の教科書の目次」です。

1) まず、模試の各教科別の得点割合を活用してどの分野が苦手なのかを大まかに確認

2) 模試でわかった苦手分野のなかで特にどこが苦手なのかを教科書の目次を使って確認

⇒教科書の目次を開いて、疑問をもったり、解き方が思い浮かばない単元に、◎(わかる)△(なんとなく)×(わからない)の3つの印をつけてみてください。

こうすることで、各単元の基礎力(知識)がきちんと身についているのかを、簡単にひと目で客観的に確認することができます。（武庫川女子大 B先輩）

「ベネッセ情報教育サイト」

数学が苦手な人が最初にやるべき勉強は？より抜粋

(<https://benesse.jp/juken/201902/20190224-1.html>)

就職戦線スタート

7月1日より、求人票の受付が始まりました。与論高校にも続々と求人票が送られてきており、3年1組の生徒と担任の森重先生が、一つ一つ求人票を仕分けしてファイルにまとめています。求人票は、就職志望者に対して会社が詳しい労働条件を示したものです。

求人票の見方については、4月に配布した「進路の手引き」の35、36ページに記載されています。特に注目しなければならないのが、①雇用形態（正社員かどうか）、②仕事の内容（自分の希望と合っているか）、③賃金（手当や賞与も含めて総額と手取りはいくらぐらいになるのか）、④就業時間・休日（年間105日が基準、有給休暇も要確認）などです。

求人票に記載されている情報を見落として、会社のイメージや給料など一部の情報のみを重視して選択してしまうと、採用された後に後悔する可能性があります。

近年、新入社員の高い離職率に悩む企業の多くが「働き方改革」に取り組み、高卒就職者を取り巻く労働環境も改善傾向にあると言われています。3年生の就職希望者は、是非進路資料室の求人票ファイルを手にとって情報を集め、就職活動を有意義なものにし、よりよい就職先につなげてください。2年生も、7月26日（月）からインターンシップが始まります。働くことの大変さや意義なども深く学ぶことになると思います。卒業後の自分をイメージする手助けとして、求人票も活用してみましょう。



進路資料室に入り口横の棚に求人票をまとめたファイルがあります。

今後の予定

もう少しで夏休みに入ります。普段よりも時間的にゆとりができて、進路について考えを深められるのではないのでしょうか。1年生はコース選択説明会があります。コース選択についてしっかりと考え始める機会にしてください。2年生は、夏休み期間中に開かれる上級学校のオープンキャンパスに積極的に参加して、進路についての具体的なイメージを持つようにしてください。3年生は、いよいよ就職試験、受験に向けて基礎力を完成させ、要項などで正確な情報を把握する時期です。一日一日を大切に過ごしてください。

今後の主な進路行事予定

7月12・13日	実力考査（全学年）	7月29日	進路講話（全学年）
7月16日	1学年PTA（コース選択説明会）	7月30日	前期課外終了
7月21日	前期夏季課外開始（全学年）	8月19日	後期課外開始（全学年）
	三者面談開始（3学年）	8月30日	後期課外終了
7月26日～28日	インターンシップ（2-1）		